「夢のよう」家族も驚き

福島選手五輪へ

前夜発行された十勝毎日新聞の号外を手に笑顔を見せる福島さん一家。前列左から母・玲子さん、父・輝幸さん、祖母・ミヱ子さん。後列左から妹の香織さん、兄の裕治さん

北京の予選で日本新を

帯南商高陸上部の辻吉則監督

「タイム的には厳しいかと思ったのでまさかという思い。おめでとうと言いたい。北京では予選で日本記録を出してほしい」と歴史に名を刻んだ教え子の成長に胸を熱くした。

福島選手とはメールをやりとりしており、今大会前にも「おなかが痛くなったがレースでは大丈夫」と連絡を受けた。南商時代に培った競技への一途な姿勢を結実させたまな弟子に敬意を示し、「十勝はスケートだけではないことを示してくれた。底辺が広がってほしい」と期待を込めた。

本番でチャンス十分ある

十勝陸上競技協会の宮坂寿文会長

「すごいよねえ。次のオリンピック（ロンドン）は行けると思っていたけど、今回選ばれるとは。大変なことだ」と手放しで喜ぶ。主に欧米の選手が上位を占める種目だが、宮坂会長は「チャンスは十分あると思う」と期待する。協会として壮行会の開催を検討中で、「地域の皆さんの応援もぜひお願いしたい」と地域を挙げての支援を呼び掛けている。

全町挙げて応援態勢

岡田和夫幕別町長

「五輪代表に選ばれるかどうか、気をもんでいた。決まって本当によかった。おめでとう」と語り、本番に向けて全町挙げた応援態勢を組む予定だ。

思い切って力を発揮して

糠内中時代の担任 井原康則さん

「学校では、明るく素直で、伸び伸びとした生徒だった。五輪出場は素晴らしい。本番では、思い切って力を発揮してほしい」とエールを送る。

陸上競技の福島千里選手（20）＝北海道ハイテクAC＝帯南商商高、幕別町出身＝が6日、女子百㍍で北京五輪代表入りを決めた。日本選手として56年ぶり、冬季五輪では数多くの選手やメダリストを輩出している十勝だが、夏季五輪では自転車競技以外となる陸上競技では初めての快挙だ。家族はもちろん地元幕別町、出身校の帯南商高などで歓喜の声がわき起こっている。

函館に駆けつけスタンドから声援を送った福島選手の父・輝幸さん（55）＝幕別町南勢、農業＝と母・玲子さん（49）、兄の裕治さん（22）が五輪代表入りの連絡を受けたのは十勝に戻る列車内だった。参加標準記録Aを突破できず残念がっていた矢先の吉報に輝幸さんは「信じられない。夢のよう」と興奮したという。

実家で待機していた祖母のミヱ子さん（79）も「小学5年生のときに『ちーちゃんも陸上雑誌に載るような選手になれたらいいね』と励ましたとき『ばーちゃん、それはないわ』と言っていた子が五輪代表なんて」と目を丸くする。

帰宅後、テレビをつけると各局がスポーツニュースで福島選手の偉業を報道。「うちの子がなぜテレビに」と不思議だった。お祝いの電話も引っ切りなし。大勢の方からお祝いの言葉をいただいた。そこで初めて千里がすごいことをやったんだと実感がわいた」と輝幸さん。

福島選手の実力に最初に気づいたのは9年前に他界した良吉さん（享年74）。小学校の運動会で1等賞を取る姿に「いい走りをする」と絶賛。青年時代に足の速さが自慢だった祖父をうならせた。

正月に帰省した際、福島選手は個人種目でも五輪出場を目指す意欲を見せていたという。代表入りで慌ただしい福島選手が落ち着けば「ゆっくり話をしたい」と輝幸さんと、家族みんなで喜びを分かち合うつもりだ。（関根弘貴）

「ちーちゃん頑張った」

帯南商高、電話でインタビュー　先輩の偉業にわく

放送室で福島選手に電話インタビューする冨田教諭

帯広南商業高校（板宮克芳校長）で7日正午から、3年間、福島選手の担任教諭だった冨田誠治教諭と、同選手の電話インタビューが校内放送され、校内は祝賀ムードに包まれた。

福島選手は昨年3月に卒業。北京五輪代表入り決定を祝福しようと急きょ催され、同選手はこの日、函館から札幌に移動するバスの車中でインタビューに応じた。冨田教諭が五輪出場決定の感想を聞くと、同選手は「まだびっくりしている」と話し、「弱音をこぼしていた友達には『ありがとう』と伝えたい」と感謝の言葉。さらに「五輪の扉を開けることができた。4年後につながる大会にしたい」と決意を語った。最後に冨田教諭は「みんな福島の応援団。思い切り走ってきてほしい」と激励、約5分で電話を切った。

生徒たちは教室で2人の会話に耳を傾け、放送が終わると大きな拍手で先輩の偉業をたたえた。

校舎1階の多目的ホールには午前11時に「おめでとう！北京オリンピック出場」と書かれた垂れ幕（長さ3・6㍍、幅0・9㍍）が掲げられた。ホール内には在校時からの活躍を報じた新聞記事なども展示され、卒業生の歴史的な快挙に教職員や生徒は喜び沸いている。（山下聡実）

おくやみ

田村トメさん（たむら・とめ＝100歳。池田町旭町6ノ8）療養中だったが、6日午前11時3分死去した。室蘭土木現業所勤務田村祥郎さんの祖母。新得町役場勤務岩城史生さんの義祖母。喪主は長男の妻友子さんとのこさん。

松浦　稽さん（まつうら・みのる＝88歳。清水町南8ノ10）療養中だったが、6日午後1時20分死去した。大平原ファーム勤務松浦和博さんの父。新得消防署長飯山俊夫さんの義父。プリマハム北海道工場勤務松浦大輔さんの祖父。喪主は長男和博（かずひろ）さん。

松本トシさん（まつもと・とし＝86歳。音更町木野西通4ノ1）療養中だったが、7日午前0時41分死去した。元雪印乳業大樹工場勤務松本康春さん、宝来保育園勤務高橋豊子さんの母。和光商事勤務高橋元明さんの義母。薄井電気勤務松木貴志さん、介護老人保健施設もみじの里勤務高橋明恵さんの祖母。喪主は長男康春やすはるさん。

鬼頭正夫さん（きとう・まさお＝80歳。音更町大通6ノ1）元音更町農協勤務。療養中だったが、7日午前5時45分死去した。元帯広グランドホテル勤務鬼頭郁子さんの夫。家畜改良センター十勝牧場飼料課勤務鬼頭毅さんの父。農業高松邦好さんの義父。喪主は妻郁子（いくこ）さん。

山岸武男さん（やまぎし・たけお＝80歳。芽室町北伏古）療養中だったが、7日午前6時39分死去した。農業山岸義男さん、吉田青果勤務山岸喜美子さん、新日鐵君津製鉄所勤務山岸幸二さんの父。セントケア勤務山岸千恵子さんの義父。JAめむ勤務山岸宏彰さんの祖父。喪主は妻ヨシ子さん。

廣瀬サキ子さん（ひろせ・さきこ＝68歳。帯広市西17北1ノ21）療養中だったが、6日午後0時1分死去した。元日崎建設勤務廣瀬智さんの妻。幕別町役場町民課勤務廣瀬康友さんの母。寒地土木研究所道南支所勤務鈴木政幸さんの義母。喪主は夫智さん。

村瀬俊一さん（むらせ・しゅんいち＝63歳。音更町字下士幌北8線東50）農業。JA下士幌北8線東50農業。JA下士幌代表監事、ハピオ監査役。6日午後1時34分死去した。海上自衛隊勤務村瀬雅俊さん、瓜幕中学校教諭村瀬俊絵さんの父。農業松田琢宏さんの義父。喪主は妻京子（きょうこ）さん。

代表決定で号外

福島選手の五輪出場決定を受け、十勝毎日新聞社は6日、号外を発行した。午後7時半ごろからJR帯広駅やスーパーマーケットなど市内9カ所で、計30枚を掲示した。同駅では、福島選手と帯広南商業高校で同級生だったという駅員の小川巧さん（19）が、「まさかオリンピックに出場するとは」と驚き、「頑張ってほしい」とエールを送った。（丹羽恭太）

6日、3カ所で真夏日

本別で30.7度

十勝地方は6日、本別の30.7度を最高に足寄30.6度、帯広30.4度と3カ所で30度を超え、2日連続の真夏日となった。

帯広測候所によると、6日は真夏並みの暖かい空気が入り込んだ上、晴天となったために気温が上昇。真夏日となった3カ所は平年と比べて8度以上も高かった。7日も湿った暖かい空気が南から入っているが、曇り空のため前日のような暑さにはならない見込み。

7、8日は曇りの予報で、所によっては小雨がぱらつく。暑さは一段落し、気温は平年並みに戻るという。

第83回平原社展

第83回平原社展協会賞の「ダケカンバ」

協会賞に中村さん（清水）

中村富志男さん

十勝の美術団体・平原社美術協会（瀧川秀敏会長）による公募展「第83回平原社展」の作品審査会が6日、帯広第一中学校で開かれ、最高賞の「協会賞」に清水町職員の中村富志男さん（52）の油彩画「ダケカンバ」が輝いた。初応募での受賞。

管内から油彩画、水彩画、版画、日本画、彫刻、工芸の計75点が出品され、61点が入選。そのうち協会賞1点、佳作賞14点、会友推挙2点が選ばれた。

中村さんは10年前に清水高校の開放講座で油彩画を始め、独学で描いてきた。今年、全国規模の公募展「白日展」で初入選を果たしている。

今回平原社展に応募した「ダケカンバ」は、昨年から今年の春にかけて富良野方面に出向き、風景を写実的に描いた作品。

中村さんは「林間の雪景色が好きでよく描いてきたが、今回は自分でも出来過ぎと思えるほどうまく描けた」と、協会賞で今後の創作に弾みがついた。誰が見ても分かりやすい写実的な絵をこれからも描いていきたい」と抱負を語っている。

瀧川会長は「絵の具を丁寧に塗り込み、調和のとれた作品、色使いもきれい」と評価している。

「第83回平原社展」は10日―15日に、帯広市内の藤丸7階催し会場、同8階市民活動交流センターで開催。会員と会友、入賞、入選作品149点を展示する。7階の入場料は一般400円（前売り300円）、高校生以下無料、8階は一般も無料。（成田融）

会友対象の会友賞、会員推挙を含む受賞者は次の通り。（敬称略）

▽協会賞＝中村富志男（油彩、清水）▽佳作賞＝東原雅樹（油彩、帯広）板矢弘美（同、同）小沼光子（同、同）、小田上飛鳥（同、幕別）嶋田純一（同、帯広）道見栄一（同、中札内）細木るみ子（同、帯広）米村美真代（同、同）松田節子（同、幕別）片山司（水彩、帯広）村中鉄也（彫刻、同）木村光延（同、同）澤口宣一（陶芸、同）藤森洋子（染織、上別）▽会友推挙＝東原こずえ（油彩、帯広）包坂敏郎（孔版画、同）▽会友賞＝佐藤艶子（油彩、幕別）山田陽子（同、同）芽室）赤坂典子（水彩、帯広）池原良徳（同、清水）横山郁美（版画、池田）福田恵子（工芸、帯広）船戸若子（同、同）▽会員推挙＝安田隆二（油彩、音更）鈴木幸子（同、同）池原良徳（水彩、清水）齋藤節子（日本画、帯広）小松志津江（同、清水）松本京子（工芸、帯広）

あんずちゃん

◀田中しょう▶

ちゃんぽん・そば　美味満喫　味鶴庵（みかくあん）
音更町東音更（リソートホテル東600m）☎42-8012

ちょっぷすぽっと

○…料理初心者の男性を対象とした教室「男子厨房（ちゅうぼう）」に入ろうが6日午前10時半から、帯広市内のとかちプラザで開かれた。管内の20代から80代の男性20人が参加し、調理を楽しんだ＝写真。

○…料理研究家の勝支部（宮坂陽子支部長）主催。開西病院（帯広）の新津可奈子管理栄養士が講師を務め、同支部会員10人がサポートした。この日の献立は冷やし中華とフルーツ白玉。慣れない手つきで悪戦苦闘しながらキュウリの千切りや錦糸卵作りなどにチャレンジした。

○…市内の長尾重春さん（85）は1人暮らしで、既に約30種類のレパートリーがあるが「このような機会を利用してもっとメニューを増やしたい」と意欲。ほかの参加者も真剣な表情で包丁を握っていた。

○…天使大学同窓会十勝支部（宮坂陽子支部長）主催。開西病院（帯広）の新津可奈子管理栄養士が講師を務め、同支部会員10人がサポートした。この日の献立は冷やし中華とフルーツ白玉。慣れない手つきで悪戦苦闘しながらキュウリの千切りや錦糸卵作りなどにチャレンジした。

○…市内の長尾重春さん（85）は1人暮らしで、既に約30種類のレパートリーがあるが「このような機会を利用してもっとメニューを増やしたい」と意欲。ほかの参加者も真剣な表情で包丁を握っていた。

（おくやみは2面にも）

義母 **田村トメ** 儀 病気療養中のところ、七月六日午前十一時三分、百歳をもって永眠致しました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでご通知申し上げます。おって葬儀は左記により執り行います。
記
一、通　夜　七月七日午後七時
一、葬　儀　七月八日午前十時
一、場　所　ベルコ音更シティホール
音更町木野大通東十三丁目三番地 ☎(31)9999
平成二十年七月七日
喪主 長男の妻 田村友子
施主 孫（室蘭市） 田村祥郎
長女（新得町） 太田美紀子
四女（音更町） 田村マサ子
（新得町） 大庭幸子
五女（新ひだか町） 北昌子
六女（沙川市） 寺澤登美子
七女 住寺興平子
孫代表（新得町） 岩城正瞳次
ほか 岩城真知子
親戚代表 住吉澤
ほか 小林一征　親戚育同　岩城史子　住吉正子　寺澤興次　北昌幸子　大庭マサ子　田村美紀子　田村祥郎　田村友子
葬儀委員長 十一丁目町内会会長

夫 **村瀬俊一** 儀 病気療養中のところ、七月六日午後一時三十四分、六十三歳をもって往生の素懐を遂げました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでご通知申し上げます。おって葬儀は左記により執り行います。
記
一、通　夜　七月八日午後七時
一、葬　儀　七月九日午前十時
（出棺十一時）
一、場　所　のむら葬祭音更町民斎場
音更町木野西通十七丁目一番地 ☎(30)2626
平成二十年七月七日
喪主 長男 村瀬京子
施主 長男 村瀬雅俊
親戚代表 村瀬明美
ほか 村瀬琢明　村瀬由紀　村瀬俊彦　村瀬俊一　村瀬寿　村瀬瀬　村瀬戚　村瀬葉
友人代表 谷孝雄　千隆同　親一　村瀬俊絵　村瀬美雄
葬儀委員長 北進行政区副区長

当組合代表監事 村瀬俊一殿　七月六日午後一時三十四分、往生の素懐を遂げられました。ここに謹んでお知らせ申し上げます。
平成二十年七月七日
音更町木野大通西六丁目一番地
木野農業協同組合
代表理事組合長 柴田賢一

当社監査役 村瀬俊一殿　七月六日午後一時三十四分、往生の素懐を遂げられました。ここに謹んでお知らせ申し上げます。
平成二十年七月七日
音更町木野大通西七丁目一番地
株式会社ハピオ
代表取締役社長 柴田賢一

当会議所特別会員 村瀬俊一殿　七月六日午後一時三十四分、往生の素懐を遂げられました。ここに謹んでお知らせ申し上げます。
平成二十年七月七日
社団法人 帯広青年会議所
理事長 髙橋弘史

当会会員 村瀬俊一殿　七月六日午後一時三十四分、往生の素懐を遂げられました。ここに謹んでお知らせ申し上げます。
平成二十年七月七日
帯広青年会議所ＯＢ会
会長 田中一郎

当会元会長 村瀬俊一殿　七月六日午後一時三十四分、往生の素懐を遂げられました。ここに謹んでお知らせ申し上げます。
平成二十年七月七日
帯広青年会議所二十一年会
会長 濱名喜久雄

当会元幹事 村瀬俊一殿　七月六日午後一時三十四分、往生の素懐を遂げられました。ここに謹んでお知らせ申し上げます。
平成二十年七月七日
丸福たまり会
会長 曽我彰夫

義母 **廣瀬サキ子** 儀 病気療養中のところ、七月六日午後零時一分、六十八歳をもって命終致しました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでご通知申し上げます。おって葬儀は左記により執り行います。
記
一、通　夜　七月八日午後七時
一、葬　儀　七月九日午前十時
一、場　所　ベルコ西シティホール
帯広市西二十一条南一丁目十五の一 ☎(36)4444
平成二十年七月七日
喪主 長男 廣瀬智
長男（幕別町） 廣瀬康
（函館市） 鈴木政友
長女 鈴木美幸
孫 鈴木佑奈
ほか 親戚同
葬儀委員長 十七条新和町内会会長

父 **松浦　稽** 儀 入院加療中のところ、七月六日午後一時二十分、八十八歳をもって永眠致しました。ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでご通知申し上げます。おって葬儀は左記により執り行います。
記
一、通　夜　七月七日午後七時
一、葬　儀　七月八日午前十時
一、場　所　清水寺
清水町南一条西四丁目 ☎0156(62)3933
平成二十年七月七日
喪主 長男 松浦和博
（新得町） 長女 飯山千津子
孫代表 松浦大輔
ほか 親戚江
葬儀委員長 桂町町内会会長 桑島民男

葬儀のことなら　葬儀社　和晃
市内西20南3　☎34-4444

Bell&co　葬儀のご用命は（24時間営業）　ベルコセレモニーホール
オビヒロ西4南27　☎21-4444

諸教葬儀施行・仏壇・仏具・慶弔生花・供物全般
音更町民斎場
音更町木野西通17丁目　☎30-2626
株式会社のむら葬祭
音更町大通15丁目　☎42-2177

お料理仕出し処　梅屋
帯広市西4南17　☎(代)(27)1241

●おくやみ広告は2面にもあります。